

第16回 ウルトラ FM 番組審議会

1 開催年月日

令和4年9月29日(木) 10:00~11:00

2 開催場所

須賀川市民交流センターtette ルーム4-3

3 委員の出席

委員総数 6人

出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名

堀江祐介 (会長)

安藤清美 (副会長)

横山知佳

久保木彩歌

真壁正人

(2) 欠席委員の氏名

村上香織

(3) 放送事業者側出席者

菊池大介 (代表取締役)

柳沼宏延 (放送局長)

4 あいさつ

(堀江委員長)

新型コロナウイルス感染が落ち着き、ワクチンの接種率も高くなり、with コロナから解放的になってきたのではないかと感じています。私ごとですが、7月に入院したが大したことなく、短い期間での退院ができました。今回も委員の皆さんの率直な意見をお願いします。

(菊池代表取締役)

新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、国も徐々に新型コロナウイルスに対して考え方が変わってきている。ウルトラFMもこの3年間、スポンサーへの対応に苦慮し、新たな対応が求められている。台風の時期となり、須賀川では3年前に台風により緊急放送を行った

が、先日町内会の防災訓練を行い、須賀川市と消防署の方を招き、震度5を想定とした訓練でグループラインを使っての情報伝達を行ったが、停電時や携帯電話のバッテリーが無いことを想定した訓練の必要性を考えた時、防災の情報では改めてラジオの必要性を須賀川市と話した。

5 議題

- (1) 「世界のカブトムシ・クワガタムシ展」の魅力（8月5日放送分）について
- (2) その他

6 議事の概要

- (1) 「世界のカブトムシ・クワガタムシ展」の魅力（8月5日放送分）について
事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った。

(安藤副委員長)

ナビゲーターのつじむらゆみこさん、解説したムシテックワールドのハガさんによる番組を聴き、ハガさんの伝え方が動きを感じる内容で、特につじむらさんのカブトムシの話しや、子供たちの感想を述べるなど、とても聴きやすかった。ベストテンを一つ一つ解説するコーナーでは、自分もムシテックワールドに行きたいと感じる内容だった。

(横山委員)

カブトムシの説明を聞き、以前ムシテックワールドに行ったことがあるが、沢山のカブトムシがいることにとても驚いた。虫に興味はなかったが、そそられた。子供たち自身が述べた感想が可愛かった。

(真壁委員)

番組のキーポイントなのは、ムシテックのハガさんの話しだと思う。ハガさんの話して、カブトムシの名前が聞き取れなかったのもう一度繰り返し話してもらいたかった。つじむらさんの虫の特徴の伝え方は分かりやすかった。

(堀江委員長)

真壁委員の虫の名前を復唱することは必要と感じた。つじむらさんのキャラクターでみんなを引き寄せる姿はとても素晴らしい。虫の描写が目浮かぶようだった。

(柳沼局長)

本日欠席の村上委員より、番組に対するご意見を頂きました。代読します。「私は虫が好きではないですが、昆虫の特徴や色、形など、とても理解し分かりやすい説明で、とても好感が持て

ました。つじむらさんが楽し気にハキハキとした口調は、ムシテックに行ってみたく感じました。来館中の子どもたちに対するインタビューがとても面白かったです。また、ランキング形式での紹介が良かったと思います。最後にハナカマキリの本物を見たいと感じました。以前テレビで見ましたが、とても綺麗なカマキリでした。また、地元で世界中の昆虫を鑑賞できる施設があることに改めて驚きました」以上です。

(2) その他

(堀江委員長)

須賀川のまちでは、カッコウの鳴き声をよく聞く。ラジオ番組では、季節を感じる話を取り入れたりしているが、鳥の情報をラジオで伝えるのも良いのではないか。

(横山委員)

娘が北海道でブラックアウトを経験した話で、停電で真っ暗になったとき、人の声を聴きたくなる。特に故郷、地元の声を聴きたかったと話した。

(菊地代表取締役)

災害時に音楽を聴くことは、人の心を癒す効果があるので、災害時の放送としてどのような対応をするか考える必要がある。

(柳沼放送局長)

皆さんの意見を今後の番組運営に反映していきたい。

7 報告

事務局の柳沼局長から、番組の一部改編及び、今後の特別番組放送内容について説明が行われた。

8 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・特になし

9 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和4年10月10日

10 その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

・令和4年12月を予定。開催日は会長と相談の上決定し、委員に連絡する。